



2022年6月28日

株式会社 阿波銀行

有限会社工藤建設興業の「SDGs 宣言書」策定について  
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、有限会社工藤建設興業（代表取締役 工藤 健、本社：徳島県名西郡）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

#### 【企業概要】

企業名	有限会社工藤建設興業
所在地	徳島県名西郡石井町高原字東高原 111 番地 1
代表者	工藤 健
業種	建設業（鉄筋型枠土工事業）
設立	1999 年 12 月 15 日

#### ○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

# SDGs宣言書

2022年6月28日



## 有限会社工藤建設興業 代表取締役 工藤 健

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
社会・経済	職場の安全衛生の向上	労働災害の防止のために、社員一人一人へ安全衛生に関する様々な機会を提供することに努めます。	①(1)安全衛生協議会の設置 (2)安全衛生の伴うパトロールの実施 (3)安全衛生に関する研修会の実施		
			②(1)2023年6月までに設置 (2)月4回実施 (3)年2回実施		
環境	ゴミ・廃棄物削減	未来の地球環境を守るため、自社で排出する廃棄物の削減やリサイクル等の活動に努めます。	①(1)事業ごみ分別の実施によりリサイクル率を向上 (2)事業所前の清掃実施 4か所 本社(石井)、作業所(不動)、川崎、仙台		
			②(1)2026年までにリサイクル率10%向上 (2)月4回実施		
社会・経済	教育への貢献	自社のリソースを最大限活用し、地域の教育に貢献する活動を行います。	①(1)職業体験(出張講座)の開催 (2)養護学校生の職業体験の実施(鉄筋作業場)		
			②(1)年4回開催 (2)年2回実施		
社会・経済	SDGsの取組みの表明	会社としてSDGsに取組むことを決め、その社会的な意義や自社にとっての目的を従業員に伝え、社会へ貢献します。	①(1)SDGsの取組みをホームページで情報開示 (2)SDGsについて従業員の意識を高める		
			②(1)2023年度までに情報開示実施 (2)2023年度までに従業員全員へSDGsバッジ配布		

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



#### SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。